

令和5年 8月現在

業種：労働者派遣事業・生産請負事業・
製造業
社員数：368名



住所：〒080-2465
北海道帯広市西25条北1丁目2番1号
電話：0155-61-0620
FAX：0155-37-5680
HP：https://persol-factorypartners.co.jp
事業内容：電子部品・デバイス・電子回路製造業



【歴史と沿革】

- 2005年4月 松下エクセルプロダクツ(株)設立…パナソニック資本100%
- 2014年1月 パナソニック エクセルプロダクツ(株)とアロービジネスメイツ(株)が事業統合…パナソニック資本100%
4,000名規模から6,000名規模へ事業急拡大
- 2015年3月 PERSOLにグループ入り…PERSOL 資本66.61%+パナソニック資本33.39%
- 2018年4月 パーソル パナソニック ファクトリーパートナーズに社名変更
6,000名規模から8,000名超へ事業拡大
- 2021年4月 パーソルファクトリーパートナーズ(株)へ社名変更

【法人内の障がい者雇用状況】

2018年度	雇用率 2.34%
2019年度	雇用率 2.22%
2020年度	雇用率 2.69%
2021年度	雇用率 2.68%
2022年度	雇用率 2.75%

Interview

障がい者雇用を始めるまでの経緯

障がい者雇用について

障がい者の法定雇用率達成の為に雇用を始めましたが、当初は画一的な組織体制だった為、全ての人に均質化・同一化を求めていました。また、現場からは、「どんな仕事をしてもらえばいいかわからない」、「安全面にも不安がある」、「採用や面接の方法がわからない」、「雇用管理・労務管理が不安」といった声が上がっていました。そこで、障がい者雇用を推進するために、障がいの特性を活かした仕事づくり、安全の確保、作業の属人化から標準化、トライアル雇用の活用、十勝障がい者就業・生活支援センターだいちと連携、障がい者職業生活相談員の資格取得等に取り組み、多様性を活かす組織として受入体制を整え、様々な現場で働いていただくことが可能となりました。

- 【障がい者別内訳】
- ・身体障がい 2名
 - ・知的障がい 2名
 - ・精神障がい 6名



パーソルファクトリー
パートナーズ(株)
帯広事業所
事業所長
久藤 崇

障がい者雇用の進め方

ご本人様や、ご担当者の方からお話をお聞きして、その方の特性に合うような工程をいくつか見学をしていただき、工場での作業の雰囲気を感じていただきます。その後、実際の現場で短期間実習を実施、ご本人のご希望があればさらに他の工程での実習を実施、その後希望により長期間の実習をしていただき、トライアル雇用から入社へという流れになります。また弊社では個人の特性や希望に合わせて、一日の勤務時間や一週間の勤務日数の設定などにも細かく対応しております。

ここが POINT !



制度について

トライアル

・・・トライアル雇用助成金

JC

・・・職場適応援助者(ジョブコーチ)

勤務先：PFA（株）帯広事業所

障がい種別：精神障がい

JC

所属部署：CJ 組立

採用年月：2015年11月

雇用形態：有期契約

雇用までの流れ：

体験実習を経て、入社へ

仕事の内容：場内で生産する

リレーを回収し、リレーの各部位の

強度を測定器で計測し、結果を

パソコンに入力する仕事



車という生活必需品の安全につながる業務に関わられて、やりがいがあります。

雇用の際にした配慮や

体制づくりについて

指導・教育・問合せ先を1名に設定。他者が使用していると待ち時間等で困惑してしまう為、専用の検査作業台を設置。

順序・ルール・数値の明確化、不明瞭な作業の撤廃、自立できるように同一作業をループできるような順序へ変更し、作業手順書を作成した。

勤務先：PFA（株）帯広事業所

障がい種別：精神障がい

JC

所属部署：物流管理工程

採用年月：2022年5月

雇用形態：有期契約

雇用までの流れ：

体験実習を経て、入社へ

仕事の内容：生産請負事業各

メーカーから送られてくる部品の

ピッキング、仕分け、梱包をする。



職場の先輩が丁寧に教えてくれるので、自分の希望した職種に就けて楽しく仕事をしています。

雇用の際にした配慮や

体制づくりについて

異性とのコミュニケーションに苦手意識がある為、同性と補助業務を行い、同一作業をループできるように作業順序を変更した。なるべく一緒に作業したり話しかけたりすることで他のスタッフや職場の環境になじむように努めた。

勤務先：PFA（株）帯広事業所

障がい種別：知的障がい

所属部署：成形付帯工程

採用年月：2019年8月

雇用形態：有期契約

雇用までの流れ：体験実習を経て、入社へ

仕事の内容：生産請負事業部品製造

で出た規格外となったプラスチックランナー

を機械に入れて、粉碎・混合して

リサイクルする仕事。



自分のペースで決められた目標が達成できた時に仕事のやりがいを感じます。

雇用の際にした配慮や

体制づくりについて

複数の人からの指示は混乱するので、指示系統を1本にまとめる。

自己判断が苦手なので、曖昧な指示は出さず具体的な数字などを挙げるようにした。

障がい者雇用を通じて感じていること

障がい者雇用を推進したことにより、事業所の弱点であった画一的な組織体制から、多様性を活かす組織体制に変えることが出来ました。それにより障がい者だけでなく健常者にも働きやすい職場となったことで、障がい者雇用は弱者救済の取り組みとしてとらえていた考えが、これからは企業の成長戦略に繋がると感じています。